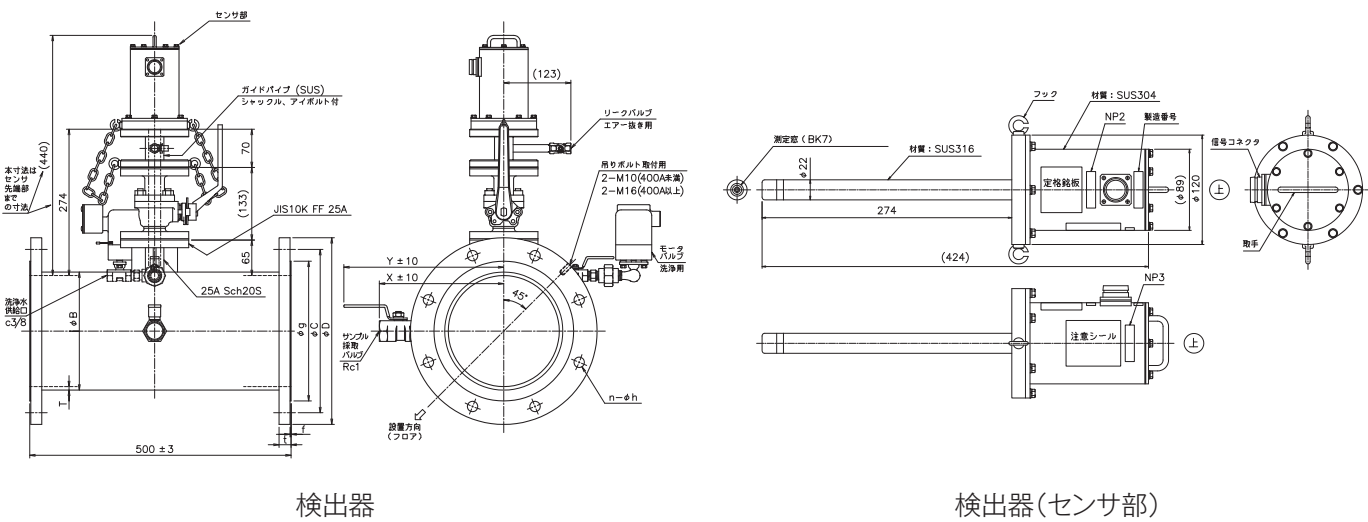


外形図



光源にレーザ光を採用。気泡の影響を受けにくく、精度良く安定度の高い、測定が可能!

下水処理場及び排水処理施設また、プロセスラインでの汚泥や懸濁物質の濃度をオンラインで測定。設備の管理面で強い力を発揮します。



**レーザ光式
汚泥濃度計(標準型)
LDM-7100**
光源には近赤外レーザダイオードを使用しています。返送汚泥濃度、送泥濃度などの計測に最適です。

主な仕様		
形 式	LDM-7100	
測定対象	配管内の汚泥濃度(SS)	
測定方式	近赤外光散乱光式(レーザ光源)	
測定範囲	0～5%(0.5%ごとに設定可能)	
繰り返し性	±2%FS以内	
直線性	±2%FS以内(但し、0～3%未満は折線近似処理使用時)	
測定液温度	0～50℃(但し、凍結しないこと)	
周囲環境条件	温度：-10～50℃ 湿度：90%RH以下	
伝送出力	DC4～20mA(最大負荷抵抗600Ω 絶縁出力)	
接点出力	種別	高・低濃度警報、保守中・故障信号
	容量	AC100V 0.5A
変換器電源		AC100V±10% 50/60Hz 単相 約20VA
質 量	変換器	約6kg
	検出器	約3kg

特 長

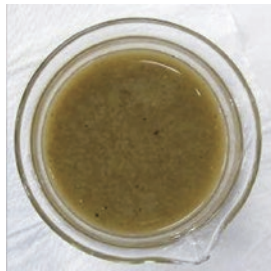
- 1 特殊演算法の採用により、汚泥色の影響を受けにくい。
- 2 レーザ光採用で、溶液色の影響を受けにくく、緑色藻類が検出面に付着しない。
- 3 流通時の微細気泡の影響を受けない。
- 4 検出器脱着可能で、検出面の洗浄が簡単。さらに、洗浄機能の標準装備で、精度管理が容易。
- 5 自己診断機能内蔵により、機器の状態が把握可能。
- 6 校正データの入力法を、ゼロ・スパン入力法、回帰式自動算出法、折線近似法から選択可能。
- 7 種々のパラメータの変更可能。日本語表示と対話方式で、間違いのない、簡単入力が可能。
- 8 変換器に人感センサ採用。消灯中の蛍光表示管に人が近づくと自動点灯。人が近づかなければ、数分で自動消灯。これにより、指示値の確認時にパネル部の操作が不要。

変換器に
人感センサ
人が近づくと自動点灯し
パネル部の操作が不要

高温型は
消化汚泥・
濃縮消化に
対応

送泥中の
センサ脱着可能
バイパス
配管不要

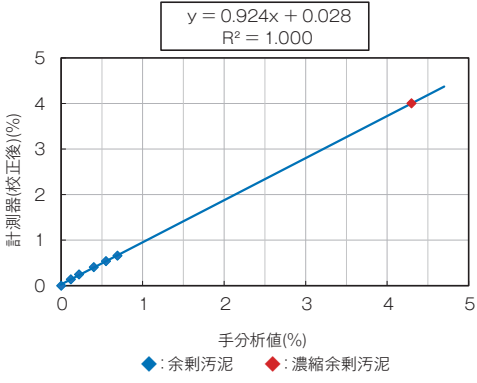
測定例



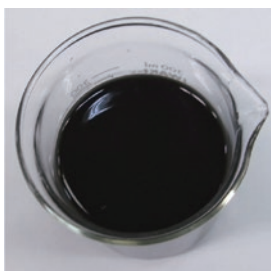
余剰汚泥



濃縮余剰汚泥



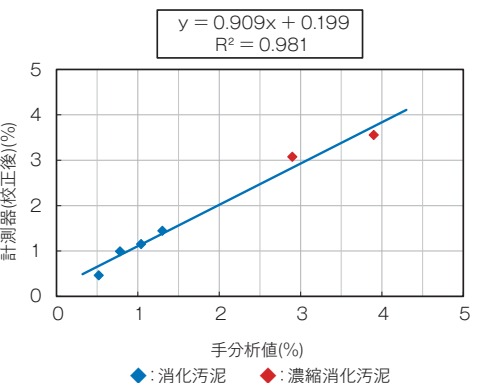
測定例



消化汚泥

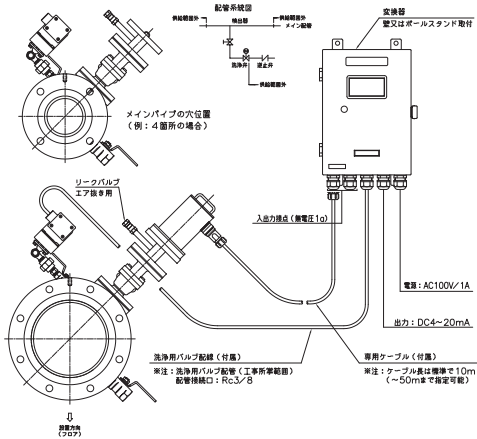


濃縮消化汚泥



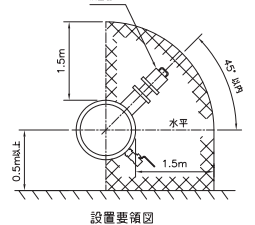
設置方法

設置図



設置上の注意

- ①取付角度(θ)は0~45° になるようにしてください。
- ②メンテナンススペースとして下図の空間を確保してください。
- ③水平配管以外の取り付けについてはご相談ください。
- ④管内流速が0.3m/s以上になる場所に取り付けてください。
- ⑤配管内は満管にしてください。



設置例



設置箇所(代表例)

